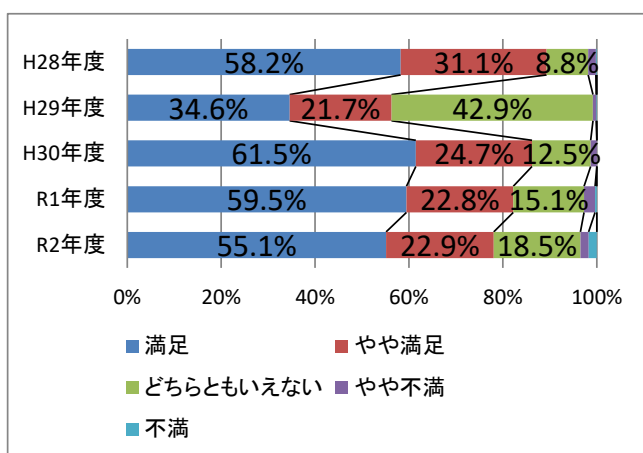


1. 患者満足度(外来患者)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度
満足	283	212	236	154	221
やや満足	151	133	95	59	92
どちらともいえない	43	263	48	39	74
やや不満	8	4	5	6	7
不満	1	1	0	1	7

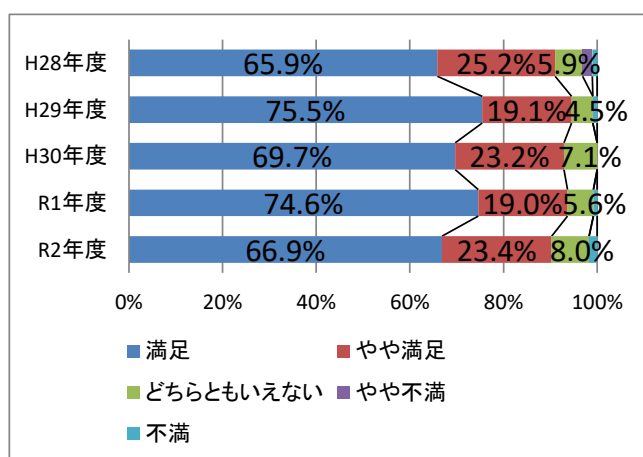


【コメント】

令和2年度は、前年度より『満足』が減少しています。
『診察までの待ち時間』が低評価となっています。

2. 患者満足度(入院患者)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度
満足	191	83	69	94	117
やや満足	73	21	23	24	41
どちらともいえない	17	5	7	7	14
やや不満	6	0	0	0	0
不満	3	1	0	1	3

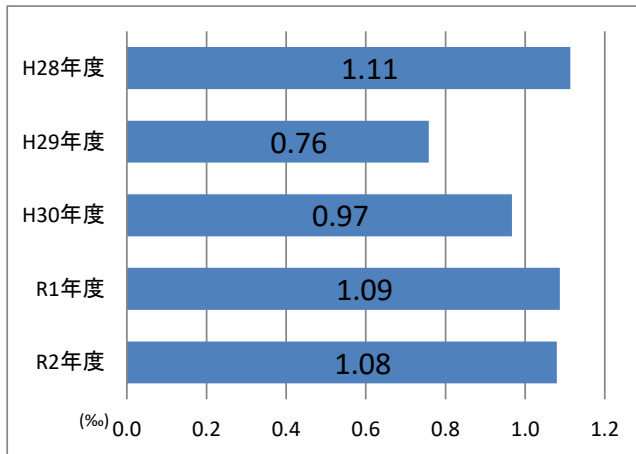


【コメント】

近年は、『満足またはやや満足』と回答した入院患者率は、概ね良好です。
例年どおり『医師による診療・治療内容』、『医師との対話』が高評価となっています。

3. 入院患者の転倒・転落発生率(‰)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度
損傷レベル2以上	259	174	217	255	226
入院延べ患者数	232,658	229,562	224,417	234,543	209,368



【算出方法】

$$\frac{\text{分子}}{\text{分母}} = \frac{\text{損傷レベル2以上}}{\text{入院延べ患者数}}$$

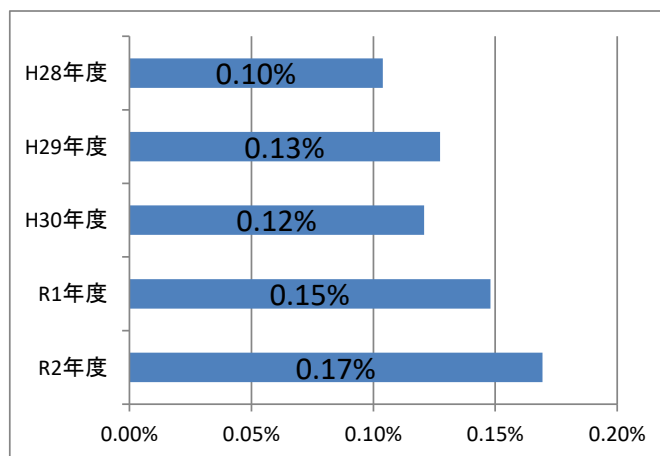
※損傷レベル2以上とは、包帯、氷、創傷洗浄、四肢の拳上、局所薬が必要になった、あざ・擦り傷を招いた軽度以上のもので、処置・治療が必要となったものをいう。

【コメント】

処置や治療が必要となった入院患者の転倒・転落発生率は、ほぼ変更ありません。

4. 褥瘡発生率

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度
d2以上の新規発生患者数	154	175	174	227	229
入院延べ患者数	148,187	137,393	144,064	153,402	135,228



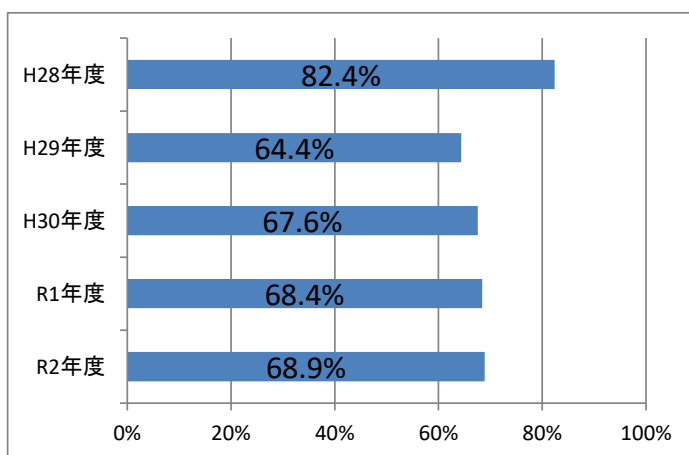
【コメント】

褥瘡発生率は褥瘡と医療関連機器圧迫創傷の発生数から計算されます。当センターは重症度の高い入院患者が多いこと、また、入院患者の高齢者の割合も増加しています。特に令和2年度は、コロナの影響から酸素吸入のためのマスクの褥瘡(医療関連機器圧迫創傷)が増加しました。これらを含め、褥瘡対策に取り組み、褥瘡の減少や早期発見・早期治癒に努めていきます。

※医療関連機器圧迫創傷:ギプス、点滴、酸素マスクによる医療機器等で発生している創傷のこと

5. 紹介率

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度
紹介初診患者数	19,072	14,519	15,361	15,404	13,680
初診患者数	23,146	22,549	22,740	22,522	19,863

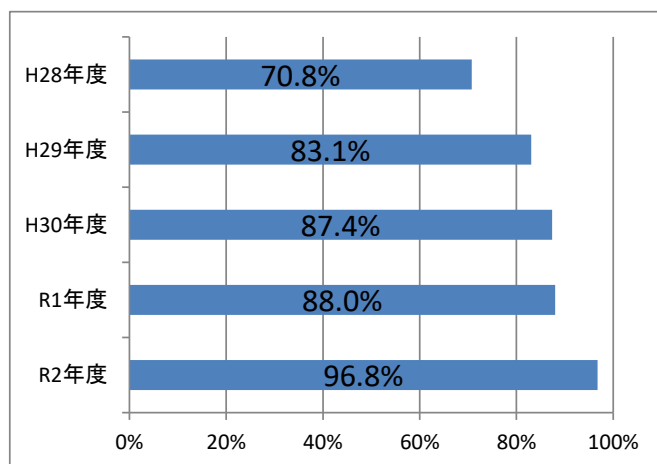


【コメント】

平成28年度までは紹介患者数で算出していましたが、平成29年度からは紹介初診患者数で算出しています。令和2年度も微増となっています。

6. 逆紹介率

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度
逆紹介患者数	16,379	18,733	19,871	19,820	19,223
初診患者数	23,146	22,549	22,740	22,522	19,863

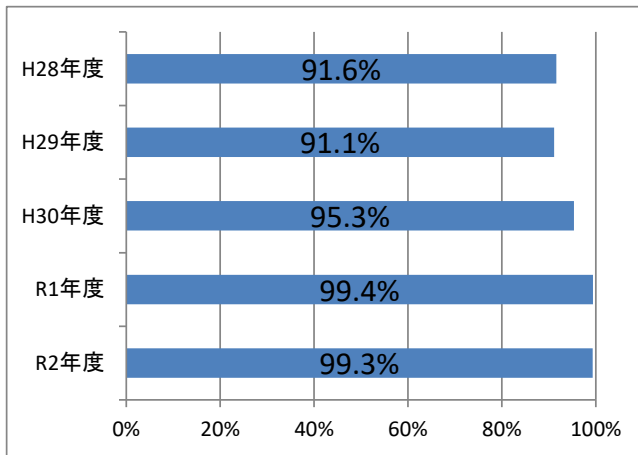


【コメント】

初診患者のうち、当センターからの紹介状を持参し、かかりつけ医等受診された患者率は増加しています。

7. 救急車・ホットライン応需率

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度
救急車で来院した患者数	6,940	6,655	6,242	6,291	5,464
救急車受け入れ要請人数	7,578	7,302	6,548	6,331	5,502



【算出方法】

$$\frac{\text{分子}}{\text{分母}} = \frac{\text{救急車で来院した患者数}}{\text{救急車受け入れ要請人数}}$$

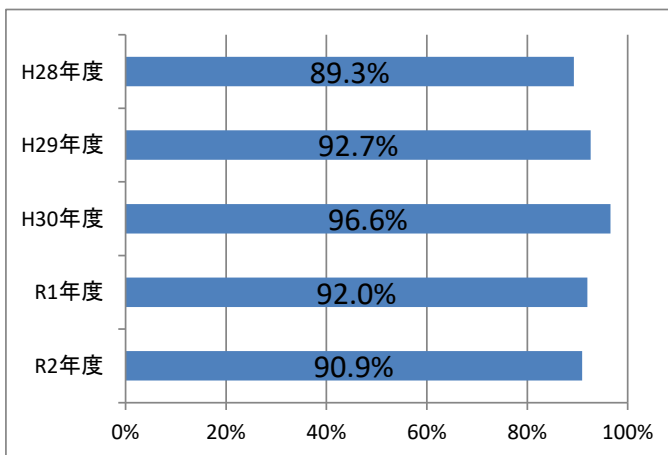
※ヘリコプターによる搬送は除く

【コメント】

救急車で受け入れ要請人数に対し、実際に来院した患者数はほぼ変更ありません。

8. 特定術式における手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度
手術開始1時間以内に予防抗菌薬投与	500	606	622	816	713
特定術式の手術件数	560	654	644	887	784

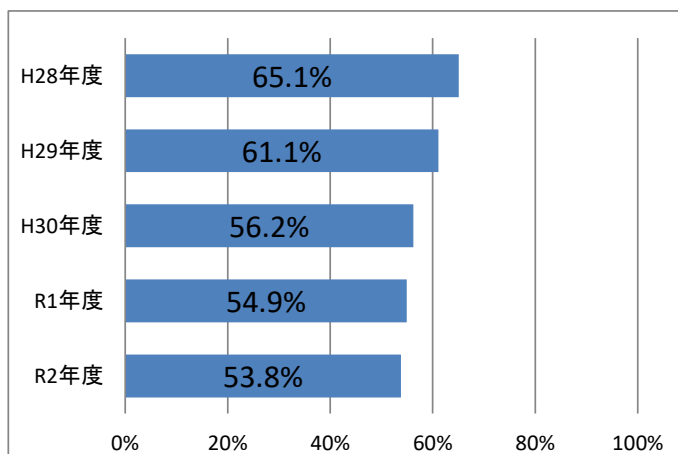


【コメント】

必要な方に対する予防抗菌薬投与は、平成29年度から90%を超えています。

9. 糖尿病患者の血糖コントロール

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度
7.0%未満の外来患者数	7,347	7,032	6,233	5,666	6,445
患者数	11,289	11,504	11,090	10,315	11,984



【算出方法】

分子 HbA1c(NGSP)の最終値が、7.0%未満の外来患者数
分母 糖尿病の薬物治療薬が外来で合計90日以上処方されている患者

【コメント】

コントロール良好な方は、かかりつけ医に紹介していますので、平成26年度から70%を下回っています。